

## 4月お話朝会

話をしっかり聞ける人になろう

みなさん、おはようございます。

いま、校長先生のあいさつに合わせて、みなさんも元気なあいさつを返してくれました。それは、教室できちんと放送が聞けているということです。放送が入っても、おしゃべりをしてさわいでいたり、他のことをやっていたりしては、放送で言っていることがわかりません。4月の終わり頃に避難訓練があります。「火事が起きたので校庭に避難しなさい」という放送が流れます。そのとき、放送を聞いていないと、命を落とすことにもなります。

今日は、話をしっかり聞くことの大切さについて話をします。

人には、五感というものがあります。目で見る、鼻でにおいをかぐ、口で味わう、体で暑い、寒い、痛いくすぐったいなどを感じます。そして、耳で音を聞きます。音には、人の話し声、音楽、風や雨の音、いろいろあります。何もしなくても、音は自然と耳に入って聞こえてきます。でも、聞こうとしないと、それが何の音か、何を言っているのかわかりません。他の人が話している時に、自分が言いたいことがあるとすぐにしゃべり出して他の人の聞くことを邪魔してしまう人、話を聞かなければならない時に、他のことが気になって体が動いてしまう人がみなさんの近くにいませんか。

話をする人をしっかり見て、最後まで話を聞いてから、自分の考えを発表したり、行動を始めたりするようにすることが大切です。

さらに、話を聞いたら、その人がどういう気持ちで言ったのか考えたり、自分は何をすればいいか考えたりできる人になったらもっといいです。例えば、「交通事故にあわないようにしましょう」という話を聞いたら、ただ、「交通事故に気をつけないといけない」と思うだけでなく、「交通事故にあわないためには、信号や横断歩道を守ること、飛び出しをしないこと、自転車は左側通行で走ること」などが思いつけるといいです。

人は言葉でいろいろなことを伝え合う生き物です。言葉は読んだり、書いたりもしますが、まずは話す、聞くをしっかりとすることで、友達同士も仲良くなれます。

今日は、話をしっかり聞くことの大切さについて話をしました。最後まできちんと話が聞けていた今のみなさんの姿勢を続けていきましょう。

これで、校長先生の話を終わりにします。